

6年生の学習到達目標

- (1)生物の体のつくりと働き及び生物と環境とを関係付けながら調べ、見いだした問題を多面的に追究する活動を通して、生命を尊重する態度を育てるとともに、生物の体の働き及び生物と環境とのかかわりについての見方や考え方を養う。
- (2)水溶液、物の燃焼、電磁石の変化や働きをその要因と関係付けながら調べ、見いだした問題を多面的に追究したりものづくりをしたりする活動を通して、物の性質や働きについての見方や考え方を養う。
- (3)土地のつくりと変化の様子を自然災害などと関係付けながら調べ、見いだした問題を多面的に追究する活動を通して、土地のつくりと変化のきまりについての見方や考え方を養う。

6年生の学習内容

学期	学習のねらい	単元名	学習内容
1 学 期	<ul style="list-style-type: none"> 物を燃やしたときの、物や空気の変化から、燃焼の仕組みについて理解します。 呼吸、消化、血液、排出や循環の働きからヒトや他の動物の体のつくりと働きについて理解します。 生き物が周囲の環境の影響を受けながら、互いに関わり合って生きていることを理解します。 	<p>ものが燃えるとき</p> <p>ヒトや動物の体</p> <p>生物とかんきょう</p>	<ul style="list-style-type: none"> 瓶の中でろうそくを燃やして、燃え方と空気の流れを調べたり、物が燃えた後の空気の変化を、調べたりします。 唾液の働きや消化の仕組み・吸う息と吐く息の違いや肺の仕組み・心臓の働きや脈拍、血液の働きなどについて調べます。 食物のもとをたどり、植物の葉ででんぷんが作られることなど、生物と植物とのかかわりについて調べます。
2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> 水溶液は、酸性・中性・アルカリ性に分けられ、金属が水溶液によって変化することを理解します。 土地のつくりや土地のでき方を調べ、土地のつくりと変化について理解します。 土地は、火山の噴火によって変化することをとらえることができるようにします。 	<p>水溶液の性質</p> <p>大地をさぐる</p> <p>大地の変化</p>	<ul style="list-style-type: none"> 水溶液を金属に加えたときの様子を調べたり、リトマス紙を使って、水溶液の仲間分けしたりします。 大地の構成物やでき方を理解したり、流水の働きや火山の活動と地層との関係を調べたりします。 火山活動による土地の変化を調べたり、火山活動による災害や、その影響について考えます。
3 学 期	<ul style="list-style-type: none"> 電流の強さや導線の巻き数などを調べ、電磁石の働きや、電流の働きについて理解します。 わたしたちの暮らしが自然と深く関わっていることをとらえることができるようにします。 	<p>電流のはたらき</p> <p>ヒトとともに生きる</p>	<ul style="list-style-type: none"> 電磁石の働きについて実験をし、電磁石の強さや働きについて理解したり、電磁石を使った物を作ったりします。 ヒトと水、空気や植物とのかかわり、また、ヒトが環境に及ぼしている影響について考えます。

6年生の評価

理科では、「自然への関心・意欲・態度」「科学的な思考・判断」「観察・実験の技能・表現」「自然事象についての知識・理解」の四つの観点で評価します。

自然事象への関心・意欲態度	科学的な思考	観察・実験の技能・表現	自然事象についての知識・理解
自然事象を意欲的に追究し、生命を尊重するとともに、見いだしたきまりを生活に当てはめてみようとする。	自然事象の変化とその要因との関係に問題を見いだし、多面的に追究し、相互関係や規則性をとらえ、問題を解決する。	問題解決に適した方法を工夫し、装置を組み立てたり使ったりして観察、実験やものづくりを行い、その過程や結果を的確に表現する。	生物は互いに類似した体のつくりと働きをもち環境とかかわって生きていることや、物に外から条件を加えると物の性質や働きが変わること、土地の作りと変化には決まりがあることなどを理解している。
次のような方法で見えていきます。			
学習活動、観察実験の様子、観察実験ノート、テスト、製作物			

おうちの方へお願い

6年生では、理科学習で、子どもたちが楽しく活動しながら、見通しをもって問題解決していく能力を育てていきたいと考えています。また、自然との楽しいふれあいを通して健全な自然観・生命観も育てたいとも考えています。学習は学校内だけの物ではありません。日常生活との関連や地域との連携も大切にしたいと思っておりますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。